

新潟県 看護協会だより

発行
 公益社団法人 新潟県看護協会
 新潟市中央区川岸町2丁目11番地
 ☎ 025-233-6550
 FAX 025-266-1199
<http://www.niigata-kango.com/>
 編集
 広報委員会



看護師職能 I、II での
認知症ケア演劇の様子



保健師職能



助産師職能



第124号

- ・会長・副会長あいさつ…………… 2
- ・平成27年度 看護協会の紹介 …… 3
- ・平成27年度 新潟県看護協会通常総会 …… 4
- ・平成27年度「看護の日」事業…………… 5
- ・職能トピックス…………… 6～7
- ・専門・認定分野の活動紹介…………… 8
- ・就職ガイダンス…………… 9
- ・新潟県看護研修センター（会館内平面図）…………… 9
- ・新潟県ナースセンターだより…………… 10～11
- ・お知らせコーナー…………… 12

会長あいさつ



会長
佐藤 たづ子

会員の皆様にはお忙しい業務の中、協会事業にご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

新潟県看護協会では6月17日に新潟グランドホテルで平成27年度通常総会を開催し、提出いたしました報告事項、議決事項全てを承認いただくことができました。ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。

今、我が国では団塊の世代が75歳を迎える2025年に向け、社会保障制度改革が進められ、私たち看護職を取り巻く環境が大きく変化してまいりました。昨年6月には医療介護総合確保法案が成立し、効率的かつ質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を目指すこととなり、これは、人々に住み慣れた地域で医療介護を一体的に包み込むように提供するもので、今迄の病院中心の医療から、地域、在宅医療への大きな転換です。皆様の地域では地域包括ケアシステムの構築に向け、どのような進捗状況になっておりますでしょうか。今起きている社会の変化を、的確に把握し、望ましい将来像に向かって自信を持って意見や提案をしていただきたいと思います。

そこで、今年重点目標の1点目は、

「地域包括ケアシステムの推進に向けて、看護職の役割を發揮する」

とし、看護専門職としての役割を果たしていただきたいと思います。この他に

「キャリア開発の支援と看護の質の向上を図る」

「働き続けられる職場環境づくりの推進に向けてWLBの定着を図る」

「支部の活動を推進する」

を重点目標としています。ワーク・ライフ・バランス・ワークショップ事業は、新潟会場に加え、佐渡会場でも2施設の参加を得て実施いたします。今年、ナースセンター事業も強化してまいります。4月よりコンピューターシステムも刷新され、スマートフォンからの利用が可能となりました。そして、上越地区にナースセンターのサテライトの開設を目指します。

また、2025年まであと10年となる今年、日本看護協会は看護職自身が、将来に向けての看護の立ち位置を今一度確認し、自信と誇りをもって、看護の専門性を發揮する指針として、「看護の将来ビジョン」を策定いたしました。新潟県看護協会のホームページからもご覧いただけます。

また、日本看護協会の重点事業である「看護基礎教育の改革」を受け、県協会としても准看護師検討委員会を立ち上げます。研修事業も昨年に比べ25項目多く計画する等、盛りだくさんの事業内容とし、会員皆様の期待に応えてまいりたいと思っています。

会員の皆様からのご意見ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

副会長あいさつ



副会長
藤田 和子

「公益社団法人新潟県看護協会組織検討委員会報告書(H25.3)」に基づき、協会では種々改善策が推進されました。組織検討委員の一員として、提案の一部の結実を目の当たりにし、意義を実感しました。常務理事の増員、支部長の理事就任、会長の常勤化など組織の強化が図られました。また、事業執行の効率化の観点から、会館1階の全面改修により、協会職員が一同に会しました。会員の皆様のお力を得ながら、よりよい協会の運営のために、さらなる改善、苦心が必要です。副会長として5年目、今年度は集大成の年と位置付け、役員・理事・協会職員の皆様と協働していきたいと思

います。



副会長
定方 美恵子

看護職が自律的に学びキャリアを積み重ね、働き続けることができ、看護の魅力を実感できることができるよう、新潟県看護協会会員のみならずとも協会の活動に取り組みたいと考えて副会長の重任をお引き受けしました。臨床経験6年間、看護基礎教育課程

教員約30年、この間、新潟県看護協会助産師職能委員長も一期務めさせていただきました。この経験を活かして、看護をめぐる社会の動きを見据えてタイムリーに行動を起こせるようにしたいと考えます。モットーはひるまないこと、ワークライフバランスをモットーに良い仕事を積みあげること、人として普通の感覚を大切にしたい視座をもちつづけることです。よろしくをお願いいたします。

平成27年度 看護協会の紹介

理事室



会員の皆様の活動支援を丁寧に行っていきたいと思います。

後列左より、皆川、若槻 前列左より、星野、波多野

認定看護管理者教育課程

当教育課程は、日本看護協会の規定に基づきファースト・セカンドレベル研修の企画並びに運営をしています。今年度から事務担当の新人を迎え、リフレッシュしました。

受講者からの「学んで良かった」「楽しかった」等の意見を励みに頑張っています。

後列、中川 前列左より、坪谷、前田



事務局



会員の皆さんは既に名前をご存じと思いますがあらためて、左側から順に、佐久間、石田、高橋、立川、安達、青木です。

各事業の予算管理、研修や各種委員会の準備、そして会員登録等を行っています。

何か疑問のことや聞きたいことがあれば、いつでもご連絡ください。

ナースセンター

無料職業紹介事業、再就職支援強化事業、訪問看護推進事業に加え、10月から始まる看護師等の離職時届出およびナースセンターのサテライト設置に向けマンパワーが強化されました。

看護職確保の総合拠点をめざし、一歩ずつ進んでいます。

後列左より、倉島、丸山、大田
前列左より、斎藤、古川



平成27年度 新潟県看護協会通常総会

日時 平成27年6月17日(水) 9:00～12:00

会場 新潟グランドホテル

参加人数 420人

委任状 12,304人



平成27年度重点目標

- 1 地域包括ケアシステムの推進に向けて、看護職の役割を發揮する
- 2 キャリア開発の支援と看護の質向上を図る
- 3 働き続けられる職場環境づくりの推進に向けて WLB の定着を図る
- 4 支部の活動を推進する



職能集会

保健師職能集会・メインテーマ 住民の健康を守るためのソーシャルキャピタルの活用
～その必要性と保健師に求められる役割について学ぶ～
演題 「住民の健康を守るためのソーシャルキャピタルの活用について」
講師 尾島 俊之 浜松医科大学 健康社会医学講座 教授



助産師職能集会・メインテーマ 産む力を引き出す助産ケア
演題 「女性の心と体の健康と冷え」
講師 川嶋 朗 東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科 教授
一般財団法人東洋医学研究所附属クリニック 自然医療部門



看護師職能Ⅰ・Ⅱ・メインテーマ 看護師職能Ⅰ病院領域・Ⅱ介護福祉関係施設・在宅等領域、
合同集会 地域で支える看護職のこれから

講演Ⅰ 「新潟県における認知症施策の概要」
講師 田村 一義 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 在宅福祉係長
講演Ⅱ 認知症ケア講座 ～目で見えて分かる認知症～
講師 高橋 克佳 デイサービスセンターお多福 統括管理者



認知症ケアでは「劇団いくり」
の演劇で楽しく認知症ケアを学ぶ
ことができました！



平成27年度「看護の日」事業

制定「25周年」記念

テーマ「看護の心を みんなの心に」

日時 平成27年5月12日(火)

会場 朱鷺メッセ



式典

受賞された方 おめでとうございます

表彰

看護業務功労者新潟県知事表彰 3名

中村 悦子 (看護師)
新潟青陵大学

馬場 千恵子 (保健師)
前津南町役場

佐久間 久美子 (助産師)
前新潟県立新発田病院付属看護専門学校

優良看護職員新潟県看護協会長表彰 212名



市民フォーラム

地域で生きる絆をつむぐ医療の輪
～みんなで支える高齢看護をめざして～

たくさんの質疑応答があり
活発に意見交換が行われました
日看協 HP「看護の日」にも
掲載されています。

基調講演 「地域包括ケアの時代に
～看護への期待を受けて～」

秋山 正子 白十字訪問看護ステーション統括所長
くらしの保健室 室長

講演 「住みなれた地域で暮らし続けられるために」

吉井 靖子 社会福祉法人長岡福祉協会
高齢者総合ケアセンターこぶし園 看護部長

講演 「これからの継続看護システム」

平澤 則子 新潟県立看護大学 教授



職能トピックス

TOPICS

保健師

平成27年度 保健師活動報告

保健師職能理事 井上陽子

平成27年度の保健師職能の活動方針は、昨年までの(1)どの職域に所属していても、保健師の専門性の視点や役割が発揮できるようにする。(2)保健師の連携強化とネットワークの構築を図り、いきいきと元気に活動する。の2点に(3)保健師1人1人が地域包括ケアシステム構築の必要性を認識し、それぞれの立場で取り組みを推進する。を加えました。

職能集会では、浜松医科大学医学部健康社会医学講座教授である尾島俊之先生を講師に迎え、「住民の健康を守るためのソーシャルキャピタルの活用について」ご講演をいただきました。ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の歴史から丁寧にひもといていただき、庶民の助け合いが発展したものであることや、地域の資源として、職域をベースとしたものの活用、地区組織の立ち上げかた、各種制度を組み合わせた運用や、住民目線での健康づくりの為に、制度の枠に住民を押し込めず、住民のニーズに対応できるようにする。などお話しいただきました。

「強固なソーシャルキャピタルは、排他性等の負の側面を併せ持つため、緩やかな結び付きが結構大切である」と学びました。分散配置になった保健師がどの部署でも活用できるお話でした。

平成27年4月には保健師活動実践集第26号を発行しました。仲間の実践や継承すべき保健師の能力を学びながら、自分の活動に生かしていくとの思いを強くしました。平成27年度も今までの活動の積み重ねを活かし「地域を見る・地域をつなぐ・地域を動かす」活動を、気負わず、緩やかに行っていきます。



平成27年度 助産師職能集会活動報告

助産師職能理事 高島葉子

○平成27年度活動計画

活動目標を平成26年度から引き続き1. 安心、安全で満足度の高い妊娠・出産・育児支援を提供するために、助産師の専門性を発揮し、質の高い助産ケアを提供できる。2. 助産師の連携強化を図り、出産の場や助産師の育成・養成に関する課題について、意見集約と提案を推進する。の2つとして、助産師職能集会、支部助産師職能代表者会議、助産師職能情報交換会、施設・開業助産師連携研修会、広報活動を進めます。

○平成27年度助産師職能集会の報告

平成26年度事業報告および平成27年度の活動計画報告をしました。その後、東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科教授であり、一般財団法人東洋医学研究所附属クリニック 自然医療部門の川嶋朗先生から「女性の心と体の健康と冷え」と題して講演をいただきました。女性は本来自然に産む力を持っており、私たち助産師はその力を発揮できるように支援することが使命です。しかし、現代の女性はその本来持っている自然に産む力が弱まっているのではないかとされています。集会のメインテーマである『産む力を引き出す助産ケア』の一助として「冷え」を克服し、心と体を整えることは大変重要なことだと再認識できました。日本看護協会が推進する助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー、CLoCMiP:クロックミップ)レベルⅢの到達目標である「院内助産・助産外来」ができる自律した能力を達成するためには「産む力を引き出す助産ケア」を実践する能力がなければ叶わないことです。現状を見据えつつ、課題実現に向けて歩みをすすめて参ります。

○お知らせ

(社)日本協会助産実践能力強化事業 **プラス** (社)新潟県助産師職能情報交換会

日時:平成27年11月19日(木)予定

一部 9:30~12:30「助産実践と倫理」

講師:山梨大学教授 中込さと子先生

二部 13:30~14:30「助産力アップ!

~院内助産のお産とは?システムづくりは?~

講師:神奈川県立足柄上病院

佐藤良枝先生



助産師

看護師職能Ⅰ委員会活動報告

看護師職能Ⅰ理事 田中京子

平成27年度の看護師職能Ⅰ活動方針は「1. 地域包括ケアシステムを理解し、役割発揮ができるための情報交換を行う」「2. 認知症対応力を向上できるような研修を企画し共有できる」「3. 支部会員とのネットワークを通じた情報交換ができるようにする」の3点を目標としています。

新潟県の高齢化率は平成27年4月1日現在で29.6%であり他県と比較しても高齢化がすすんでいます。職能Ⅰでの支部活動や意見交換会でも認知症患者の対応に苦慮しているという意見が多く聞かれます。治療が必要な状況でいかに安静と安全と安楽が守れるか、現場では多くのジレンマを持ちながら看護を行っています。そのため、平成27年度看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同集会では、新オレンジプランを受け新潟県の政策周知のため、新潟県福祉保健部高齢福祉保健課の在宅福祉係長である田村一義氏を迎え「新潟県における認知症施策の概要」について講演を頂きました。正しく認知症を理解し鑑別診断に基づく初期対応、急性期対応が求められるため、知識と対応力を磨く必要がある。また市町村における標準的な認知症ケアパス作成や認知症看護指導者育成、サポーターの輪の拡大が重要であるという内容でした。

今年度の活動では県下の認知症認定看護師に参加頂き意見交換会を計画しています。また、支部代表者会議は現場のリアルタイムな問題の情報交換を行いよりよい看護に繋げられるよう活動していきます。



看護師職能Ⅱ委員会活動報告

看護師職能Ⅱ理事 本間美知子

平成27年度も新しい幕開けとなりました。東日本大震災から丁度4年3か月が過ぎ帰還困難者の方々も介護状態が悪化しているとのニュースをはじめとし、日本の高齢化時代の2025年に向かって、益々超高齢化と多死時代がやってきました。そんな今の「医療と介護」が連携をしてこれからの高齢化と、いかにその人らしい生活を地域で支え見守り、尊厳をもって最後の最期まで見送っていくか。ということが最近叫ばれてくるようになり、「時々病院、時々自宅」といった地域包括ケアシステム構築が提唱されるようになりました。今まさに「住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」が求められています。

そこで看護師職能Ⅱでは、今までの認知症研修に加えて今年度は「地域包括ケア」構築に向けて看護師の果たす役割についての勉強会や「看取り・生と死を考える」研修会を計画しています。日本看護協会の重点政策・重点事業にも、地域包括ケアシステムの構築と推進が第一にあげられています。昨年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」によって今後は看護師職能Ⅱ領域の活動範囲拡大と社会からの期待が益々大きくなることは予想されるところであります。

さて、今年度の職能Ⅱの目標は3つ。①看護師職能Ⅱ領域の看護協会入会者増加に向けた啓蒙活動。②看取りケアに関する研修プログラム・勉強会の普及啓発。③地域包括ケア貢献に資するため、看護師職能Ⅰ・支部職能委員との連携を図り職能領域の問題、課題抽出、課題解決に向けた取り組みを挙げております。会員数も徐々に増えてきています。社会の風が今までの急性期中心の「病院完結型」から訪問看護、介護等の「地域完結型」に移行しなければ超高齢化社会を乗り切ることができない状況になってきている今だからこそ看護師職能ⅠとⅡがタッグを組んで切れ目のない、きめ細やかなサービスを提供する時だと感じています。

平成27年6月17日の看護師職能Ⅰ・Ⅱの合同集会には多数のご参加を頂き、「認知症ケア講座」を開催し参加者は認知症サポーターとして、一方で地域住民としても高齢者の見守りをしていただきたいと思います。

4年目を迎える職能団体として今以上に社会的認知度を上げ、会員数を増やし、組織強化を図り社会に期待されるよう委員一同今年も知恵を絞って頑張りたいと考えています。ご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

専門・認定分野の活動紹介

今年度は皆様の施設の『各分野で活躍する認定看護師』の特集をします。

認定看護師制度は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的としています。



新潟県認定看護管理者の会「かりん」

平成 11 年に日本看護協会認定看護管理者制度ができ、新潟県でも、平成 16 年以降毎年 2～3 名が認定されてきました。そこで認定看護管理者同士の連携の必要性を感じ、平成 24 年 12 月、新潟県認定看護管理者の会を結成しました。会の名称は「管理」をもじって「かりん」としました。かりんには薬効もあり、いい香りもします。ひらがなで親しみやすく、凜として可憐な名前に、看護管理を担う私達に相応しい(?)との思いも込めました。

会員は平成 27 年 5 月現在 31 名で、病院や行政、教育現場等に勤務しています。年 1 回総会を開き、情報交換や研修会講師等の担当について話し合っています。私たちは新潟県の看護の質が向上するよう、現場の看護管理のレベルアップのお役に立ちたいと思っています。講師やアドバイザーなどお手伝いさせていただきますので、いつでもお気軽にご相談ください。

代表者 井川富美子 新潟南病院

「専門看護師」

2015 年 6 月現在、県内の 17 名の専門看護師（以下 CNS）のうち、がん看護 CNS は 11 名と最多であり、上・中・下越の各地域における臨床・教育の現場で活動している。

当県は 3 つのがん看護 CNS 教育機関を擁するため、がん看護 CNS を目指す学びの段階で、顔の見える関係が作りやすく、ネットワーク作りには恵まれた環境である。また、県内のがん看護 CNS と教育機関の教員が共同設立した「新潟がん看護研究会」において、臨床と研究のリンクや新しいがん看護ケアの創出を目的とした活動を行う中で、ネットワークはより強められている。院内・院外のいずれにおいても、がん看護 CNS は専門研修の企画・運営などの教育活動、複雑な問題を抱えるがん患者に対する実践、などに協働して取り組み、がん看護の質のボトムアップを目指している。

専門領域を超えた CNS 同士のネットワークは現状ではあまりできていないが、高齢化に伴って重複した健康問題をもつ患者は増加してきていることから、ネットワーク作りに取り組んでいきたい。

柏木 夕香 新潟県立がんセンター新潟病院

就職ガイダンス

平成27年4月26日（日）

場 所 朱鷺メッセ 参加人数 620名
参加施設数 63施設



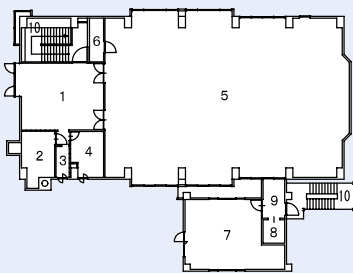
参加学生の声

- ・就職を加味した参加です。ブースをよく見て考えたいと思います。
- ・新潟市内学生です。就職もすぐなので参加しました。



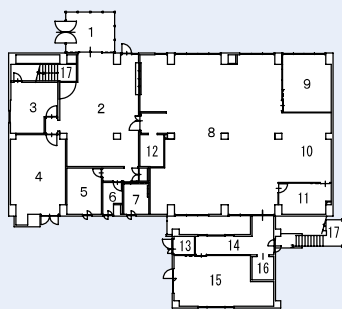
看護研修センターの図書館が新しく
使い易くなりました。ご利用下さい。

新潟県看護研修センター (会館内平面図)



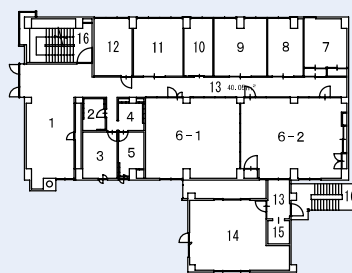
3階平面図 (床面積438.44㎡)

1. ロビー (42.84㎡)
2. 倉庫 (13.78㎡)
3. 男子トイレ (3.33㎡)
4. 女子トイレ (11.52㎡)
5. 大研修室 (284.22㎡)
6. 放送機材・倉庫室 (5.16㎡)
7. 講師控室・会議室 (43.59㎡)
8. ELV (4.09㎡)
9. 廊下 (6.63㎡)
10. 外部階段
内部階段 (23.28㎡)



1階平面図 (床面積434.11㎡)

1. 風除室 (14.35㎡)
2. エントランス (65.28㎡)
3. 印刷室 (16.40㎡)
4. 書庫兼倉庫 (33.24㎡)
5. 女子トイレ (12.00㎡)
6. 男子トイレ (4.92㎡)
7. 身障者トイレ (6.16㎡)
8. 理事・事務室 (149.87㎡)
9. 会長室 (20.43㎡)
10. ナースセンター (26.09㎡)
11. 相談室 (12.15㎡)
12. 湯沸室 (5.88㎡)
13. 玄関 (3.02㎡)
14. 廊下 (14.44㎡)
15. 図書室 (32.74㎡)
16. ELV (4.09㎡)
17. 外部階段
内部階段 (13.05㎡)



2階平面図 (床面積423.24㎡)

1. ロビー (51.09㎡)
2. 男子トイレ (5.60㎡)
3. 女子トイレ (12.00㎡)
4. 湯沸室 (6.32㎡)
5. 倉庫 (9.04㎡)
6. 中研修室 (116.45㎡)
7. 研修準備室 (18.23㎡)
8. 会議室2 (15.02㎡)
9. 看護連盟 (22.17㎡)
10. 情報管理室 (12.34㎡)
11. 助産師会 (20.91㎡)
12. 講師室 (16.31㎡)
13. 廊下 (46.68㎡)
14. 会議室1 (43.59㎡)
15. ELV (4.09㎡)
16. 外部階段
内部階段 (23.40㎡)

新潟県ナースセンターだより

再就職支援講習会 6月スタート

現場でいきいき働いている看護職の姿に復職を決意する方が多くいます。
ひとりでも多くの看護職が看護の世界で再び輝けるよう
今年度も復職体験コースでお世話になります。

★内容のご紹介

対象者：看護職の資格をお持ちで再就職を希望される未就業の方

期 間：平成 27 年 6 月～平成 28 年 2 月

内 容：

【復職支援基礎コース】 基本的な知識や技術を講義・演習形式で学びます。

【復職体験コース】 新潟県内の病院や施設等で看護の実際を体験します。

★会場（復職体験コースの協力病院・施設等は現在も募集中です。）

地 域	復職支援コース会場	復職体験コース会場
上越地域	新潟県立看護大学	高田西城病院 知命堂病院 知命堂病院訪問看護ステーション けいなん総合病院 新潟県立中央病院 訪問看護ステーションリボン ショートステイだいにち わたぼうし病児保育室（塚田こども医院内） さいがた医療センター 上越地域医療センター病院 デイサービスセンターエンジョイ倶楽部もんぜん
中越地域	長岡看護福祉専門学校	新潟県立吉田病院 長岡保養園 五日町病院 てまり訪問看護ステーション 新潟病院 富永草野病院 済生会三条病院 燕労災病院 長岡中央総合病院 ふるまい訪問看護リハビリステーション 魚沼基幹病院 東部どんぐり保育園県立精神医療センター ケアセンター三好園しんざ 訪問看護ステーションつくし 特別養護老人ホーム白ふじの里 こぶし訪問看護ステーション大島 訪問看護ステーションみつこうや
下越地域	新潟県看護研修センター ※演習：新潟大学医歯学 総合病院	新潟県立新発田病院 南浜病院 肴町病院 木戸病院 すずらん訪問看護ステーション 岩室リハビリテーション病院 北日本脳神経外科病院 臨港訪問看護ステーション 白根大通病院 南部郷厚生病院 南部郷総合病院 西蒲中央病院訪問看護ステーション 新潟臨港病院 猫山宮尾病院 西新潟中央病院 訪問看護ステーションたんぼぼ 新潟県立津川病院 新潟中央病院 新潟大学医歯学総合病院 訪問看護ステーションにいつ 新潟脳外科病院 特別養護老人ホーム江東園 特別養護老人ホーム菅名の里 黒埼病院 豊浦病院豊浦愛広苑 水原郷病院 桑名病院 西蒲中央病院 介護福祉施設和久楽
佐渡地域		真野みずほ病院 佐渡総合病院

◎施設の並びは順不同で、法人名は省略させていただきました。

看護師等の届出制度が始まります！

看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正により、看護職の離職時等におけるナースセンターへの届出制度（努力義務）が平成 27 年 10 月からスタートします。

【届出制度の目的】

ナースセンターが離職中の看護職の皆様とつながりを持ち、ライフサイクルを通じて適切なタイミングで復職のための研修や就職あっせん等のサービスを提供することで、再び看護職としてご活躍いただけるようサポートをすることをめざす仕組みです。

【届出後の支援】

ナースセンターでは、届け出られた方のニーズに合わせて講習会やガイダンス、就職相談会等の企画実施や求人情報の提供等を行います。また県内各地に出向き、個別の相談にも対応します。「すぐは就業しない」、「復職するかどうか未定」、「復職しないと思う」という方も届出の対象になりますがその意は尊重されます。働きたいと思った時に復職できるよう支援していきます。

【届出の方法】

- 届出先 新潟県ナースセンター
- 届出対象者
 - ・ 離職する看護職
 - ・ 免許取得後直ちに就業しない看護職
 - ・ 離職中の看護職
 ※再就業の意思の有無は問いません。
- 届出の内容 氏名、生年月日、住所、電話番号など連絡先に係る情報、取得免許番号など
- 届出の方法
 - ①個人で届ける
 - ・ スマホかパソコンでのインターネットから
 - ・ 届出用紙を新潟県ナースセンターに送付（用紙はナースセンターから取寄せてください。ナースセンターのホームページからもダウンロードできます。）
 - ②組織からの一括登録

【届出制に係る説明会の予定】

- ・ 病院等の管理者を対象とした説明会を上越・中越・下越の各地区にて予定しています。
- ・ ご要望に応じて、新潟県ナースセンター職員が職場に説明に伺います。

《再就職を考えているお知り合いの看護職をご紹介します。》

e- ナースセンターが
新しくなりました。
スマホ利用も可能です。

県内のハローワークで
年間 90 回の個別相談会
開催中！

ナースセンターで
ハローワーク求人の閲覧、
紹介ができます。

就業中の方も、非協会員の
方も利用できます。

【相談の例】
就業相談や仕事上の悩み
メンタルヘルス相談
キャリアに関する相談
進路相談など
なんでもどうぞ！

相談・講習会参加は
雇用保険受給要件の
就職活動に該当します。

経験豊富な看護職の相談員が
丁寧に対応します。

相談・紹介等利用は無料
秘密は固く守られます。

お知らせコーナー

学会案内

学会テーマ 「地域を支える看護の力」

日時 平成27年11月27日(金) 9:40～16:15

特別講演 13:00～14:30 名郷直樹「長寿社会と地域包括ケアの役割」
武蔵野国分寺公園クリニック院長

看護フォーラム 10:00～12:00 任 和子「病いとともに生きることをささえる看護」
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授

第3回甲信越在宅医療推進フォーラムin新潟のご案内

下記のとおりフォーラムが開催されます。(無料)

- ・とき 平成27年11月1日(日) 9時～17時15分
- ・ところ 朱鷺メッセ(新潟市中央区万代島6-1)
- ・内容 テーマ: **住み慣れた地域で生きる エンド・オブ・ライフ・ケア**
小山剛氏追悼集会・シンポジウム
基調講演①「国家戦略としての在宅医療 - 連携から統合へ -」
飯島勝矢(東京大学高齢社会総合研究機構 准教授)
②「看取り、看取られ - いのちの最終章を生きる -」
内藤いづみ(ふじ内科クリニック院長)

問い合わせ先: 新潟県在宅ケアを考える会事務局 ☎025-223-6381 新潟県医師会業務二課内

研修の案内

- ・准看護師研修 看護倫理 9/14(月) 受付延長中(受付8/1～)ご応募下さい。
- ・准看護師研修 チーム医療と連携 10/2(金) ~~受付延長中(受付8/1～)ご応募下さい。~~
- ・看護学校教員研修 みんなで行う学校管理・運営 10/3(土)
- ・新人看護職員臨床研修における教育担当者研修 3日間 10/16(金)・10/27(火)・12/1(火)
- ・地域包括ケアシステム推進のための研修 10/19(月)
- ・プリセプター研修2回目(9月と同一内容) 3/1(火)

受講料について

今年度はオンデマンド・インターネット研修等の受講料が変更になっています。お釣りがいらぬようご準備ください。ご協力をお願いします。

事務局より

看護研修センターを御利用の皆様へ

- ・看護研修センターには駐車スペースがありません。なお、**県立がんセンター新潟病院の駐車場の利用は堅く禁止**します。必ず公共の交通機関をご利用ください。
- ・お忘れ物は3ヵ月保管後、処分させていただきます。ご了承下さい。

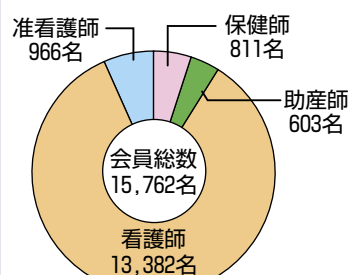
編集後記

6月から新しいメンバーが3人加わりました!

- ・今年は「認定看護師」を特集します!
 - ・協会だよりで取り上げてほしい「テーマ」がありましたら広報までお寄せください。
- 広報委員: 落合、永石、木口、安藤、斎藤
koho@niigata-kango.com

新潟県看護協会会員数

平成27年7月17日現在



会員総数 15,762名

保健師	811名
助産師	603名
看護師	13,382名
准看護師	966名